

**会員事業所景況実態調査令和2年1月～令和2年3月分集計結果**  
**調査依頼数:532 回答数97 回答割合:18.2%**

令和2年度1回目の会員事業所景況実態調査の調査結果について下記のとおり報告いたします。  
 調査結果については、今後の要望・提言活動や経営相談に活用してまいります。  
 ご回答いただいた事業所の皆様、お忙しいなか、ご協力ありがとうございました。

**★DI値とは**

各項目について、増加・好転(仕入単価:下落、従業員:不足)と回答した事業所の割合から  
 減少・悪化(仕入単価:上昇、従業員:過剰)と回答した事業所の割合を減じた数値。  
 ゼロを基準とし、プラスの値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で  
 景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。

**【質問 A】 前年同時期と比較した1月～3月の景況**

	項目	増加・好転	不変	減少・悪化	合計	DI値	前回DI値	対比増減
全体	売上	4	26	66	96	▲ 64.6	▲ 37.0	▲ 27.6
	採算	3	29	64	96	▲ 63.5	▲ 30.0	▲ 33.5
	仕入単価	2	59	30	91	▲ 30.8	▲ 53.8	23.0
	従業員	11	60	24	95	▲ 13.7	21.7	35.4
	業況	2	31	64	97	▲ 63.9	▲ 35.2	▲ 28.7
	資金繰り	1	53	41	95	▲ 42.1	▲ 14.1	▲ 28.0
建設・建築業	売上	1	9	12	22	▲ 50.0	▲ 31.6	▲ 18.4
	採算	1	9	12	22	▲ 50.0	▲ 36.8	▲ 13.2
	仕入単価	0	17	5	22	▲ 22.7	▲ 47.4	25.0
	従業員	4	13	5	22	▲ 4.5	31.6	36.1
	業況	1	10	11	22	▲ 45.5	▲ 31.6	▲ 13.9
	資金繰り	1	13	8	22	▲ 31.8	▲ 5.3	▲ 26.5
製造業	売上	1	1	17	19	▲ 84.2	▲ 50.0	▲ 34.2
	採算	0	3	16	19	▲ 84.2	▲ 30.0	▲ 54.2
	仕入単価	0	5	13	18	▲ 72.2	▲ 65.0	▲ 7.2
	従業員	1	11	7	19	▲ 31.6	5.0	36.6
	業況	0	1	18	19	▲ 94.7	▲ 40.0	▲ 54.7
	資金繰り	0	10	9	19	▲ 47.4	▲ 5.0	▲ 42.4
卸・小売業	売上	2	5	14	21	▲ 57.1	▲ 62.5	5.4
	採算	2	4	15	21	▲ 61.9	▲ 50.0	▲ 11.9
	仕入単価	2	12	5	19	▲ 15.8	▲ 43.8	28.0
	従業員	2	13	6	21	▲ 19.0	31.3	50.3
	業況	1	6	14	21	▲ 61.9	▲ 53.3	▲ 8.6
	資金繰り	0	12	8	20	▲ 40.0	▲ 37.5	▲ 2.5
飲食・サービス業	売上	0	6	14	20	▲ 70.0	▲ 9.5	▲ 60.5
	採算	0	7	13	20	▲ 65.0	▲ 4.8	▲ 60.2
	仕入単価	0	15	4	19	▲ 21.1	▲ 57.1	36.0
	従業員	3	12	4	19	▲ 5.3	23.8	29.1
	業況	0	10	11	21	▲ 52.4	▲ 19.0	▲ 33.4
	資金繰り	0	12	8	20	▲ 40.0	0.0	▲ 40.0
不動産・その他	売上	0	5	9	14	▲ 64.3	▲ 37.5	▲ 26.8
	採算	0	6	8	14	▲ 57.1	▲ 35.7	▲ 21.4
	仕入単価	0	10	3	13	▲ 23.1	▲ 53.3	30.2
	従業員	1	11	2	14	▲ 7.1	18.8	25.9
	業況	0	4	10	14	▲ 71.4	▲ 37.5	▲ 33.9
	資金繰り	0	6	8	14	▲ 57.1	▲ 31.3	▲ 25.8

**(全体)**

仕入単価、従業員以外は大幅に悪化している。各項目で前期比25ポイント以上悪化し、特に売上・採算・業況はDI値▲60ポイント以上、資金繰りは▲40ポイント以上と非常に高くなっている。これは、過去4年と比較しても一番マイナスポイントが高くなっている。一方で仕入単価、従業員は大幅に改善され、従業員では過去4年人手不足が続いていたが、逆にマイナスに転じ人手過剰傾向となっている。仕入単価は依然として▲30ポイントと高くなっている。

**(建設・建築業)**

仕入単価、従業員以外は悪化している。前期比では資金繰りが25ポイント以上悪化している。DI値では、売上、採算で▲50ポイント以上、業況で▲45ポイント以上、資金繰りで▲30ポイント以上と高くなっている。一方で仕入単価、従業員は大幅に改善され、従業員では逆にマイナスに転じ人手過剰となっている。

**(製造業)**

従業員以外は悪化しており、そのうち仕入単価以外は前期比30ポイント以上悪化している。DI値では、資金繰り以外で▲70ポイント以上と非常に高くなっており、資金繰りでも▲50ポイント近くとなっている。一方、従業員は大幅に改善されたが、逆に人手過剰となっている。さらに全体や他業種と比較しても人手過剰傾向が高くなっている。

**(卸・小売業)**

売上、仕入単価、従業員で改善されている。DI値では、売上は依然として▲50ポイント以上と非常に高くなっている。仕入単価、従業員は大幅に改善されたが、従業員は人手過剰となっている。一方、採算、業況は10ポイント前後と比較的悪化ポイントは少なくなっているが、依然としてDI値▲60ポイント以上と高くなっている。また資金繰りは前期比ほぼ増減なしだが、依然としてDI値▲40ポイント以上と高くなっている。

**(飲食・サービス業)**

仕入単価、従業員以外は大幅に悪化している。売上、採算は前期比60ポイント以上、業況、資金繰りは30ポイント以上と大幅に

悪化している。DI値では、売上、採算、業況で▲50ポイント以上、資金繰りで▲40ポイント以上と非常に高くなっている。一方、仕入単価、従業員は大幅に改善され、従業員は人手過剰となっている。

**(不動産・その他)**

仕入単価、従業員以外は大幅に悪化している。すべてにおいて前期比20ポイント以上悪化しており、またDI値では▲50ポイント以上と非常に高くなっている。一方、仕入単価、従業員は大幅に改善したが、従業員では人手過剰となっている。

**【質問 A】 3月と比較した4月～6月の先行き見通しについて**

	項目	増加・好転	不変	減少・悪化	合計	DI値	前回DI値	対比増減
全体	売上	2	16	77	95	▲ 78.9	▲37.0	▲41.9
	採算	1	20	74	95	▲ 76.8	▲31.1	▲45.7
	仕入単価	2	67	22	91	▲ 22.0	▲41.1	19.1
	従業員	11	54	28	93	▲ 18.3	19.6	37.9
	業況	0	17	78	95	▲ 82.1	▲38.0	▲44.1
	資金繰り	0	39	56	95	▲ 58.9	▲17.4	▲41.5
建設・建築業	売上	0	6	16	22	▲ 72.7	▲15.8	▲56.9
	採算	0	6	16	22	▲ 72.7	▲15.8	▲56.9
	仕入単価	0	16	6	22	▲ 27.3	▲42.1	14.8
	従業員	4	14	4	22	0.0	21.1	21.1
	業況	0	7	15	22	▲ 68.2	▲21.1	▲47.1
	資金繰り	0	8	14	22	▲ 63.6	5.3	▲68.9
製造業	売上	0	0	19	19	▲ 100.0	▲35.0	▲65.0
	採算	0	1	18	19	▲ 94.7	▲35.0	▲59.7
	仕入単価	0	14	4	18	▲ 22.2	▲50.0	27.8
	従業員	1	9	9	19	▲ 42.1	20.0	62.1
	業況	0	0	19	19	▲ 100.0	▲40.0	▲60.0
	資金繰り	0	6	13	19	▲ 68.4	▲20.0	▲48.4
卸・小売業	売上	2	4	15	21	▲ 61.9	▲56.3	▲5.6
	採算	1	5	15	21	▲ 66.7	▲53.3	▲13.4
	仕入単価	1	14	5	20	▲ 20.0	▲25.0	5.0
	従業員	1	12	8	21	▲ 33.3	25.0	58.3
	業況	0	3	18	21	▲ 85.7	▲56.3	▲29.4
	資金繰り	0	10	11	21	▲ 52.4	▲37.5	▲14.9
飲食・サービス業	売上	0	3	16	19	▲ 84.2	▲38.1	▲46.1
	採算	0	5	14	19	▲ 73.7	▲19.0	▲54.7
	仕入単価	1	14	3	18	▲ 11.1	▲38.1	27.0
	従業員	3	10	5	18	▲ 11.1	14.3	25.4
	業況	0	4	15	19	▲ 78.9	▲33.3	▲45.6
	資金繰り	0	10	9	19	▲ 47.4	▲9.5	▲37.9
その他	売上	0	3	11	14	▲ 78.6	▲43.8	▲34.8
	採算	0	3	11	14	▲ 78.6	▲40.0	▲38.6
	仕入単価	0	9	4	13	▲ 30.8	▲50.0	19.2
	従業員	2	9	2	13	0.0	18.8	18.8
	業況	0	3	11	14	▲ 78.6	▲43.8	▲34.8
	資金繰り	0	5	9	14	▲ 64.3	▲31.3	▲33.0

**(全体)**

仕入単価、従業員以外は前期比40ポイント以上と大幅に悪化する見通しである。DI値では、特に売上、採算、業況で▲75ポイント以上、資金繰りで▲55ポイント以上と非常に高くなっている。一方、仕入単価、従業員は大幅に改善される見通しだが、従業員では人手過剰になる見通しである。

**(建設・建築業)**

仕入単価、従業員以外は大幅に悪化する見通しである。特に売上、採算、資金繰りは前期比55ポイント以上、業況は45ポイント以上と大幅に悪化する見通しである。またいずれもDI値▲65ポイント以上と非常に高くなっている。一方、仕入単価、従業員は改善される見通しである。

**(製造業)**

仕入単価、従業員以外は大幅に悪化する見通しである。特に売上・業況ではDI値▲100ポイントとなっており、すべての事業者が悪化する見通しと回答していることを表している。これまで景況調査を実施してきたなかで初めてのDI値となる。また採算もDI値94.7ポイントと非常に高くなる見通しである。一方、仕入単価、従業員は改善される見通しだが、従業員は人手過剰となり、他業種と比較しても人手過剰が強くなる見通しである。

**(卸・小売業)**

仕入単価、従業員以外は大幅に悪化する見通しである。特に業況は前期比30ポイント前後と大幅に悪化する見通しである。DI値では、業況で85ポイント以上、売上、採算で60ポイント以上、資金繰りで50ポイント以上と非常に高くなっている。一方、仕入単価、従業員は改善される見通しだが、従業員は人手過剰となる見通しである。

**(飲食・サービス業)**

仕入単価、従業員以外は大幅に悪化する見通しである。採算は前期比50ポイント以上、売上、業況は40ポイント以上と大幅に悪化する見通しである。DI値では、売上、採算、業況で▲70ポイント以上、資金繰りで▲45ポイント以上と非常に高くなる見通しである。一方、仕入単価、従業員は大幅に改善される見通しだが、従業員は人手過剰となる見通しである。

**(不動産・その他)**

仕入単価、従業員以外は大幅に悪化する見通しである。すべてで前期比30ポイント以上と大幅に悪化する見通しである。DI値では、売上、採算、業況で▲75ポイント以上、資金繰りで▲60ポイント以上と非常に高くなる見通しである。一方、仕入単価、従業員は改善される見通しだが、仕入単価は依然として▲30ポイント以上と高くなる見通しである。